

わたしたちの言葉、
あなたに届け

第45回 沼津市

わたしの 主張大会



2026.6.13 (sat)

13:00～16:00(開場12:30)

沼津市民文化センター 小ホール

観覧
無料

市内中学校(19校)の代表者が、自分自身と向き合う中で、
または周囲の人や社会との関わりの中で考えたこと、
未来への希望を、自らの言葉で発表します。

今を生きる青少年の声を、ぜひ会場でお聞きください。

当日の発表順等の詳細はホームページ・SNSをご覧ください。

沼津市教育委員会事務局 生涯学習課

☎ 055-934-4871 ✉ syo-gakusyu@city.numazu.lg.jp

主催:沼津市教育委員会

後援:沼津市自治会連合会、沼津市青少年を健やかに育てる会連絡協議会、沼津千本ライオンズクラブ





2025 静岡県大会 最優秀賞・共感賞

『人間になった僕ができること』

加藤 蒼士さん 片浜中学校3年(当時)

医療の分野でもAIの研究開発が進んでいるが、便利になるからとすべてを機械に頼ってしまうのは間違っている。

良い医者とは求める価値によって変わるものだが、人間の温かさは代替できない。

過去の受診経験から、自分が「言葉の処方箋を出せる素敵な医者」になりたいと思う。

——そこに愛はあるんか！

僕は心の中でこう叫ばずにはいられませんでした。

第44回 沼津市

わたしの 主張大会

昨年度の応募作品総数は1,648点。
各校代表者として選ばれた19名が、
自らの思いや考えを、精一杯伝えました。

動画はこちらから⇒
(市公式YouTube)



2025 静岡県大会 優秀賞

『向き合って見える世界』

金田 ゆなさん 愛鷹中学校3年(当時)

発達障がいを抱える姉と過ごす中で、通りすがりの人の冷たい言葉や視線、根拠のない決めつけや偏見は何度も感じている。

社会には障がい者に対する固定観念や否定的なイメージが根強く存在する。しかし、姉には特出した能力があり、障がいを持っていたとしても私達同様に個性や良さを持っていることに変わりはない。

一人ひとりが障がいのある人と少しでも向き合うべきだと思う。もし、障がいを持つ人と関わるときがあったら、お互い一人の人間としてその人のことを知ろうしてほしい。

——その偏見だけで人の評価を下げるようなことを言うのはあってはならない。

